

結婚情報サービス利用者における 上方婚、下方婚

太刀岡勇気
(三菱電機株式会社)

研究の背景

- ▶ 伝統的な考え方では、結婚において男性の方が女性よりも、条件が良いこと(上方婚)が望まれてきた
 - ▶ 近年、女性の社会進出、晩婚化に伴い、伝統的な価値観にとられず、一見条件が劣っているかに見える男性とも積極的に結婚するようになった(下方婚[1])
 - ▶ 一方で、結婚において、ネット環境の普及にともない、結婚情報サービスの占める割合が増している
 - ▶ 結婚情報サービスは条件で相手を選ぶため、下方婚が選ばれにくい可能性がある
 - ▶ 新聞紙上[2]の結婚情報サービスの成婚者の学歴、年収、年齢のデータをもとに、上方婚、下方婚の傾向を探る
 - ▶ 学歴に関してはNFRJ03のデータとも比較する
-



学歴

▶ マッチングのペア数とそのバブルチャート

- ▶ 表1は明らかに高学歴者が多い
- ▶ 対角線よりも下に集中→上方婚傾向

表1 情報サービス利用者のマッチング

女\男	中学	高校	専門	短大	4大	大学院	計
中学	0	3	0	0	2	0	5
高校	0	26	12	2	30	2	72
専門	0	18	15	6	38	9	86
短大	0	20	9	1	61	19	110
4大	0	29	10	4	156	50	249
大学院	0	0	3	0	21	14	38
計	0	96	49	13	308	94	560

表2 NFRJ03のマッチングデータ

女\男	中学	高校	専門	短大	4大	大学院	計
中学	534	207	18	19	21	0	799
高校	297	1358	120	122	440	13	2350
専門	19	204	83	44	130	11	491
短大	19	235	60	106	461	32	913
4大	3	32	18	13	331	52	449
大学院	0	0	0	0	8	8	16
計	872	2036	299	304	1391	116	5018

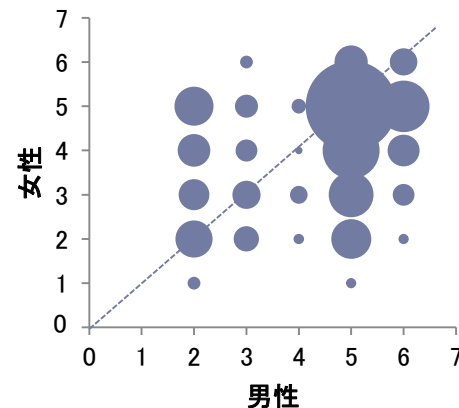


図1 情報サービス利用者のマッチング

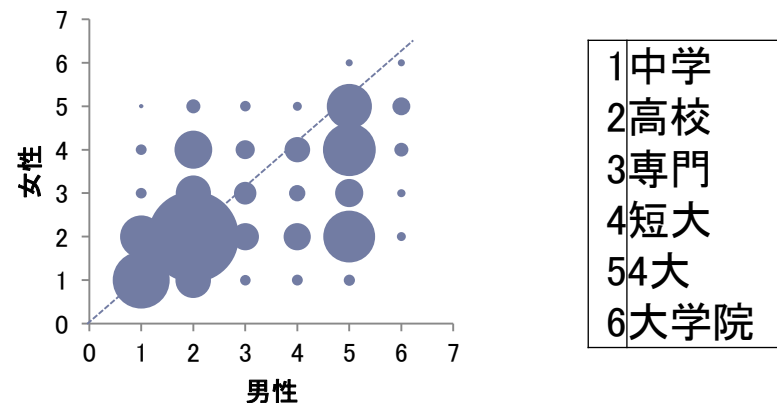


図2 NFRJ03のマッチングデータ

学歴(同類婚指数)

- ▶ 結婚情報サービス利用者の同類婚指数は、NFRJ03および2010人口動態調査のそれよりも低い傾向

表3 情報サービス利用者の同類婚指数
(同類婚指数の和=30.7)

女\男	中学	高校	専門	短大	4大	大学院
中学	0.00	3.50	0.00	0.00	0.73	0.00
高校	0.00	2.11	1.90	1.20	0.76	0.17
専門	0.00	1.22	1.99	3.01	0.80	0.62
短大	0.00	1.06	0.94	0.39	1.01	1.03
4大	0.00	0.68	0.46	0.69	1.14	1.20
大学院	0.00	0.00	0.90	0.00	1.00	2.19

表4 NFRJ03の同類婚指数
(同類婚指数の和=57.2)

女\男	中学	高校	専門	短大	4大	大学院
中学	3.85	0.64	0.38	0.39	0.09	0.00
高校	0.73	1.42	0.86	0.86	0.68	0.24
専門	0.22	1.02	2.84	1.48	0.96	0.97
短大	0.12	0.63	1.10	1.92	1.82	1.52
4大	0.04	0.18	0.67	0.48	2.66	5.01
大学院	0.00	0.00	0.00	0.00	1.80	21.63

表5 情報サービス利用者の同類婚指数(和=23.1)

女\男	中学	高校	専門	短大	大学以上
中学	0.00	3.50	0.00	0.00	0.56
高校	0.00	2.11	1.90	1.20	0.62
専門	0.00	1.22	1.99	3.01	0.76
短大	0.00	1.06	0.94	0.39	1.01
大学以上	0.00	0.59	0.52	0.60	1.17

表6 NFRJ03(和=26.1) 表7 2010人口動態調査(和=28.8)

女\男	表6 NFRJ03					表7 2010人口動態調査				
	中学	高校	専門	短大	大学以上	中学	高校	専修学校	短大・高専	大学以上
中学	3.85	0.64	0.38	0.39	0.09	6.91	1.22	0.51	0.68	0.19
高校	0.73	1.42	0.86	0.86	0.64	1.35	1.49	0.92	0.76	0.53
専門	0.22	1.02	2.84	1.48	0.96	0.99	0.98	2.05	0.88	0.77
短大	0.12	0.63	1.10	1.92	1.80	0.38	0.71	0.92	1.71	1.30
大学以上	0.04	0.17	0.65	0.46	2.86	0.11	0.30	0.49	0.71	1.97

ペア行列の行/列目の要素を p_{ij} の時、

$$a_{ij} = p_{ij} \frac{\sum_{i,j} p_{ij}}{\sum_i p_{ij} \sum_j p_{ij}}$$

年収

▶ 学歴よりも強い上方婚傾向

- ▶ 年収: 平均637万(男), 326万(女); 中央値580万(男), 300万(女)
- ▶ 年収の男女差も影響している

表8 情報サービス利用者のマッチング

女\男	0-	100-	200-	300-	400-	500-	600-	700-	800-	900-	1000-	
0-	0	0	0	2	3	7	1	3	1	1	6	24
100-	0	0	1	5	14	9	8	2	4	2	2	47
200-	0	0	1	5	54	33	17	17	13	4	10	154
300-	0	0	1	10	30	39	30	15	8	6	13	152
400-	0	0	0	4	16	24	17	14	7	6	16	104
500-	0	0	0	0	5	10	12	8	3	2	4	44
600-	0	0	0	2	1	4	3	4	2	2	3	21
700-	0	0	0	0	0	2	0	4	0	1	0	7
800-	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3
900-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
1000-	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	0	0	3	28	124	129	89	68	39	25	55	560

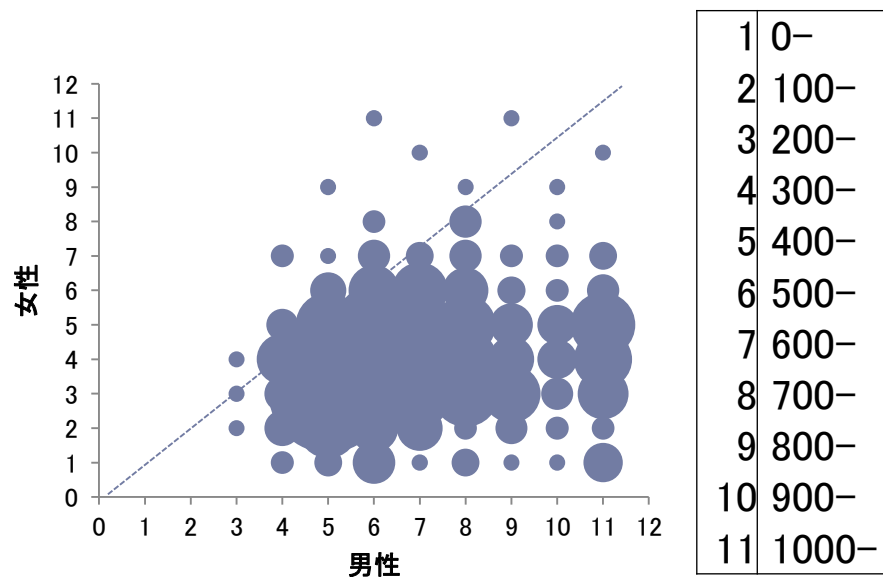


図3 情報サービス利用者のマッチング

年齢

▶ 上方・同類選好性

▶ 男性35-40歳、女性30-35歳が最多

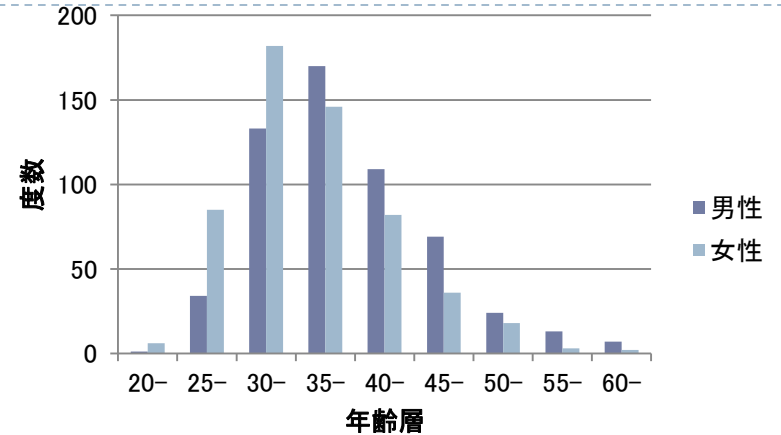


図4 情報サービス利用者の年齢層

表9 情報サービス利用者のマッチング

女\男	10-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	
10-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20-	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	6
25-	0	1	22	40	18	3	0	0	0	1	85
30-	0	0	8	80	74	19	1	0	0	0	182
35-	0	0	3	9	67	45	20	2	0	0	146
40-	0	0	0	1	10	39	25	7	0	0	82
45-	0	0	0	0	0	2	22	9	3	0	36
50-	0	0	0	0	0	0	1	6	7	4	18
55-	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
60-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	0	1	34	133	170	109	69	24	13	7	560

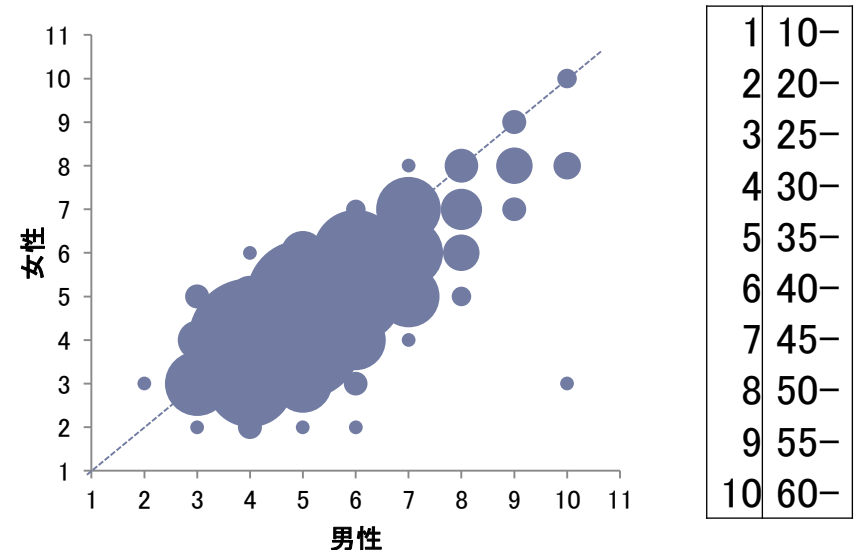


図5 情報サービス利用者のマッチング

上方婚の傾向

▶ 定義

- ▶ マッチング行列(表1, 8, 9)の対角線上を同類婚、右三角を上方婚、下三角を下方婚と定義
 - ▶ 学歴には、あまり強い選好性は見られないが、年収には強い上方選好性が見られる。年齢に関しては上方、同類選好性が見られる。

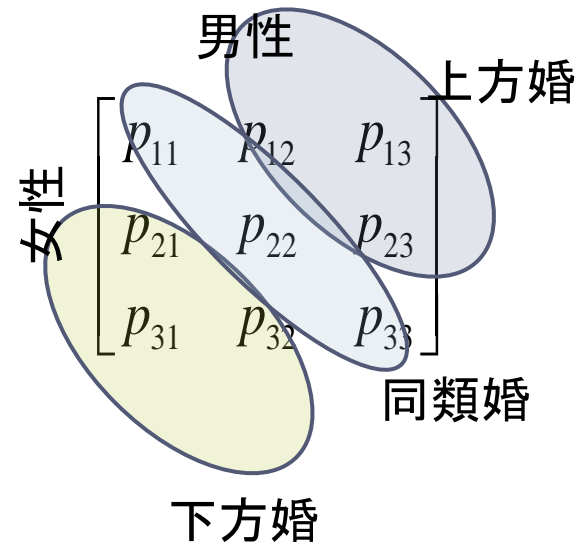
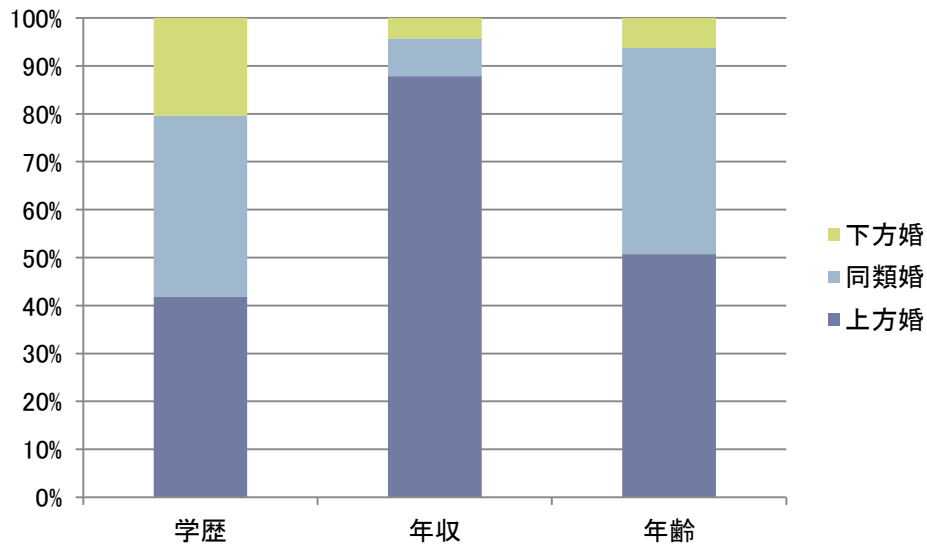


図6 情報サービス利用者の条件別選好性

Preference scoreによるモデル化

▶ Preference score

▶ 差の量(男-女)を使う

▶ $s = f_x(x) + f_y(y) + f_z(z)$ でモデル化

▶ 概形を設定し、全てのマッチングペア(560組)の s が0以上になるようにパラメータを調整(が正の区間がなるべく短くなるように拘束)

▶ 例: $x=40, y=0$ の場合、 $f_x(40)=-9.5, f_y(0)=1$ なので、 $z \geq 750$ ($f_z(750)=8.5$) であれば $s \geq 0$ となる

▶ 年齢差、学歴差: 同類選好だが、上方により寛容

▶ 年収: 強い上方選好性、大きな重み

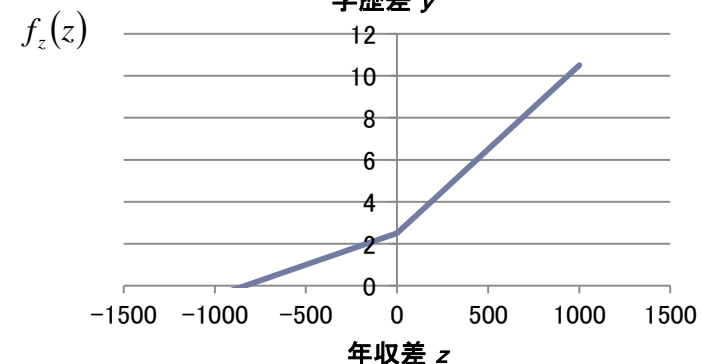
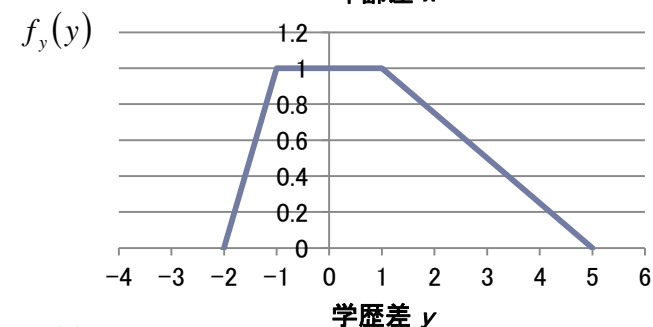
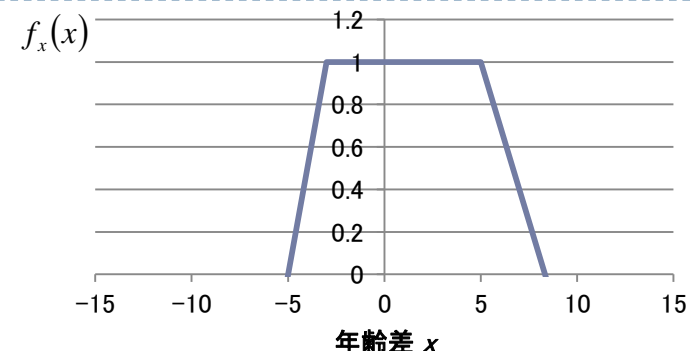


図7 各関数の様子

まとめ

- ▶ 結婚情報サービス利用者の上方婚、下方婚傾向を調べた
 - ▶ 学歴: あまり強い選好性は見られない
 - ▶ 年収: 強い上方選好性
 - ▶ 年齢: 同類(若干の上方)選好性
- ▶ Preference scoreでモデリングすることで、年収差が最も支配的要因であることが分かった
- ▶ 参考文献
 - ▶ 読売新聞 (2013/11/3) オーネット広告 (2013/4,5,6に成婚した560組のカップル)
 - ▶ 小林淑恵 (2006). 学歴下方婚のすすめ. 第2回家族についての全国調査 (NFRJ03) 第2次報告書 No. 1: 夫婦、世帯、ライフコース(日本家族社会学会全国家族調査委員会), 89-102.

